

防除所レポート【トマトキバガのフェロモントラップへの誘殺状況について】

トマトキバガは、県内では、令和5年に初めて発生が確認された侵入害虫で、主な寄主植物であるナス科（トマト等）を食害します。（令和5年10月24日発表 病害虫発生予察特殊報 第1号 参照）

現在のところ、県内でのトマトキバガによる農作物の被害は認められていませんが、フェロモントラップへの誘殺数は昨年より多い状況です（図）。他県では、冬期間でもハウス内での発生が確認されていますので、今後もハウス内への飛び込みや発生に注意しましょう。被害の特徴等については、令和6年10月18日発表の病害虫速報 No.9を参考して下さい。

トマトキバガの発生や被害が疑われた場合は、最寄りの農業改良普及センター、病害虫防除所に連絡してください。

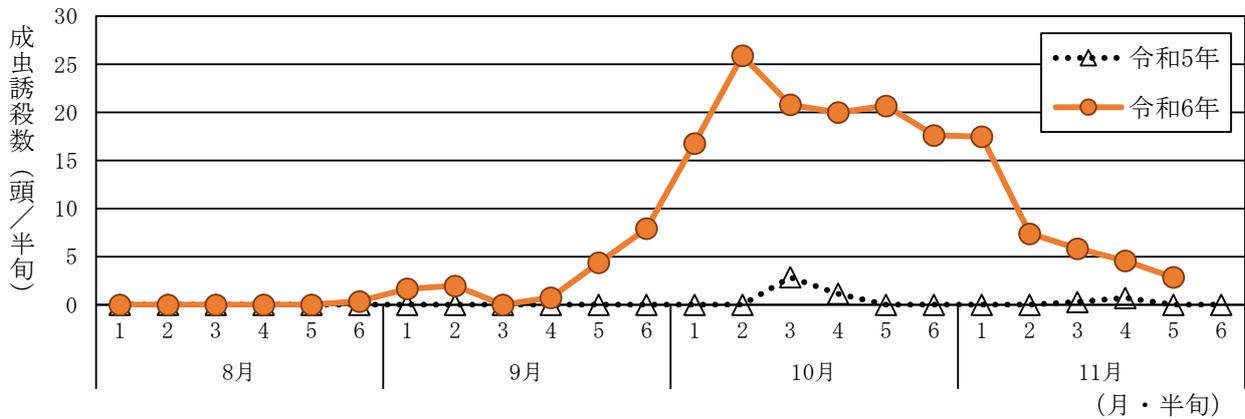


図 フェロモントラップへのトマトキバガ成虫の誘殺数（県内4地点合計）